

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2022年7月26日まで（2017年7月27日設定）	
運用方針	世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの転換社債等の運用にあたっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビード ファンド	世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界好利回りCBファンド2017-07 （為替ヘッジなし）（限定追加型）

第2期（決算日：2019年7月29日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジなし）（限定追加型）」は、去る7月29日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税込み 分配金	期騰落	中率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円	
2017年7月27日	10,000	—	—	—	—	—	6,417	
1期(2018年7月30日)	10,100	0	1.0	88.8	8.7	—	5,463	
2期(2019年7月29日)	10,235	0	1.3	89.6	7.3	—	2,947	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2018年 7月30日	円 10,100	% —	% —	% 88.8	% 8.7	% —
7月末	10,102	0.0	—	89.0	8.8	—
8月末	10,141	0.4	—	87.4	9.9	—
9月末	10,387	2.8	—	88.1	9.8	—
10月末	10,212	1.1	—	85.8	10.3	—
11月末	10,219	1.2	—	87.5	9.9	—
12月末	9,942	△1.6	—	86.0	9.5	—
2019年 1月末	9,915	△1.8	—	86.0	9.9	—
2月末	10,187	0.9	—	90.6	7.2	—
3月末	10,294	1.9	—	90.0	7.3	—
4月末	10,416	3.1	—	88.4	7.6	—
5月末	10,164	0.6	—	87.6	7.4	—
6月末	10,152	0.5	—	87.7	7.4	—
(期 末) 2019年 7月29日	10,235	1.3	—	89.6	7.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2018年7月31日～2019年7月29日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	10,100円
第2期末	10,235円
既払分配金	0円
騰落率	1.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.3%の上昇となりました。

基準価額の変動要因

上昇要因

2019年以降、米欧の金融当局の利上げに対する慎重な姿勢等を背景に米国とドイツの金利が低下したことや世界的に株式市況が堅調に推移したこと等を受けて、グローバル転換社債（CB）市況が上昇したことや、CBの利子収益を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米中貿易摩擦問題や英国の欧州連合（EU）離脱等を巡る不透明感が高まった局面等で、米ドルやユーロが対円で下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。

第2期：2018年7月31日～2019年7月29日

投資環境について

▶ グローバルＣＢ市況

グローバルＣＢ市況は上昇しました。

期首から2018年12月末にかけて、米中貿易摩擦や英国のＥＵ離脱を巡る不透明感が強まったこと等を背景に、世界的に株式市況が下落したこと等から、グローバルＣＢ市況は下落しました。その後、期末にかけて、米欧の金融当局が利上げに対する慎重な姿勢を示したこと等を背景に米国とドイツの金利が低下したことや、世界的に株式市況が堅調に推移したこと等から、グローバルＣＢ市況は上昇しました。その結果、期を通じてみると、グローバルＣＢ市況は上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルやユーロなどの主要通貨は対円で下落しました。

米中貿易摩擦問題や英国のＥＵ離脱等を巡る不透明感が高まった局面等で、投資家のリスク回避姿勢が高まり、安全資産と見られている円が買われたこと等から、米ドルやユーロなどの主要通貨は対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 世界好利回りＣＢファンド2017-07 （為替ヘッジなし）（限定追加型）

当ファンドは、世界好利回りＣＢマザーファンド2017-07受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のＣＢ等を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ 世界好利回りＣＢマザーファンド 2017-07

主として、日本を含む世界各国のＣＢ等を高位に組み入れる運用を行いました。保有銘柄は原則継続保有しましたが、値上がりした一部の銘柄等については売却を行い、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2018年7月31日～2019年7月29日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	267

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 世界好利回りCBファンド2017-07 （為替ヘッジなし）（限定追加型）

マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

▶ 世界好利回りCBマザーファンド 2017-07

各国の中央銀行は、慎重に経済・景気動向を見極めようとしています。短期的には市場が不安定な動きとなる展開も予想されますが、相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見えています。

今後の運用につきましては、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況などを継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、原則として、信託期間内に償還または繰上償還請求可能日を迎える銘柄に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

2018年7月31日～2019年7月29日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	107	1.053	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(71)	(0.698)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0.322)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.025	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	110	1.078	

期中の平均基準価額は、10,171円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

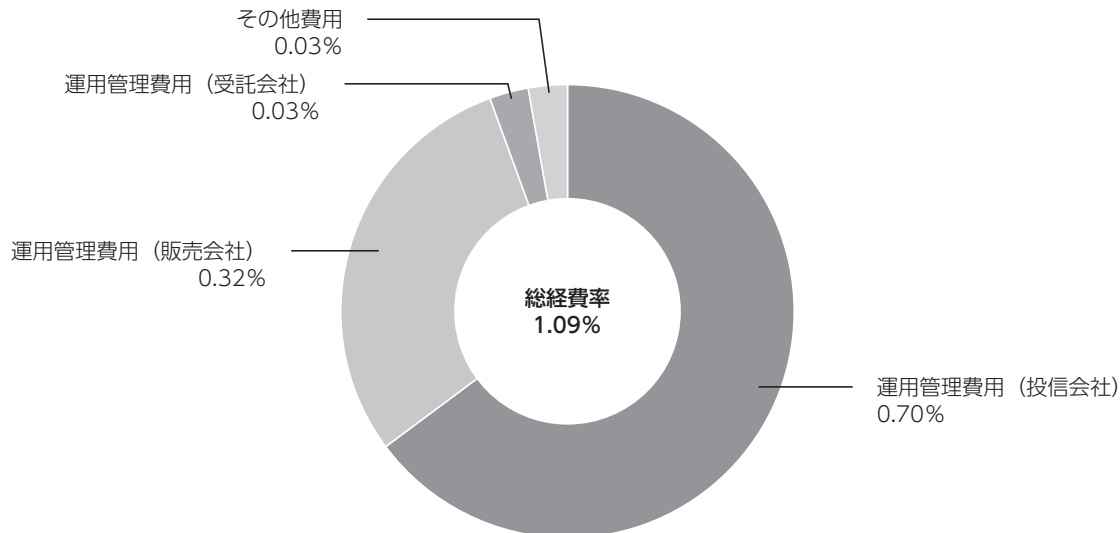
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.09%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月31日～2019年7月29日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千口 —	千円 —	千口 2,524,553	千円 2,583,000

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月31日～2019年7月29日)

利害関係人との取引状況

<世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジなし）（限定追加型）>
該当事項はございません。

<世界好利回りCBマザーファンド2017-07>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 211	% 21.0	百万円 5,758	百万円 902	% 15.7	

平均保有割合 39.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年7月29日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数		口数	評価額
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千口 5,325,279		千口 2,800,726	千円 2,927,599

○投資信託財産の構成

(2019年7月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千円 2,927,599	% 98.6
コール・ローン等、その他	42,125	1.4
投資信託財産総額	2,969,724	100.0

(注) 世界好利回りCBマザーファンド2017-07において、期末における外貨建純資産（7,693,760千円）の投資信託財産総額（7,780,351千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.45円	1 ユーロ=120.73円	1 イギリスポンド=134.19円	1 スウェーデンクローネ=11.42円
1 香港ドル=13.87円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年7月29日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,969,724,936
コール・ローン等	42,125,920
世界好利回りCBマザーファンド2017-07(評価額)	2,927,599,016
(B) 負債	22,007,406
未払解約金	5,961,629
未払信託報酬	15,986,964
未払利息	92
その他未払費用	58,721
(C) 純資産総額(A-B)	2,947,717,530
元本	2,879,907,179
次期繰越損益金	67,810,351
(D) 受益権総口数	2,879,907,179口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,235円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,409,597,337円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 2,529,690,158円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0235円です。

②分配金の計算過程

項 目	2018年7月31日～ 2019年7月29日
費用控除後の配当等収益額	36,240,908円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	437,986円
分配準備積立金額	40,380,936円
当ファンドの分配対象収益額	77,059,830円
1万口当たり収益分配対象額	267円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「世界好利回りCBマザーファンド2017-07」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2018年7月31日～2019年7月29日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 27,355
受取利息	122
支払利息	△ 27,477
(B) 有価証券売買損益	67,992,815
売買益	88,956,044
売買損	△20,963,229
(C) 信託報酬等	△36,920,903
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	31,044,557
(E) 前期繰越損益金	37,676,956
(F) 追加信託差損益金	△ 911,162
(配当等相当額)	(437,986)
(売買損益相当額)	(△ 1,349,148)
(G) 計(D+E+F)	67,810,351
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	67,810,351
追加信託差損益金	△ 911,162
(配当等相当額)	(437,986)
(売買損益相当額)	(△ 1,349,148)
分配準備積立金	76,621,844
繰越損益金	△ 7,900,331

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

世界好利回りCBマザーファンド2017-07

《第2期》決算日2019年7月29日

[計算期間：2018年7月31日～2019年7月29日]

「世界好利回りCBマザーファンド2017-07」は、7月29日に第2期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。 銘柄選定にあたっては、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界の転換社債市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行うことを基本とします。なお、信用格付けが投資適格未満（BBB一格相当未満）の銘柄への投資も行います。</p> <p>原則として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、償還まで保有することを基本とします。なお、運用者の判断により償還前に売却することがあります。</p> <p>転換社債の償還金等については、原則として信託期間内に償還を迎える転換社債に再投資を行います。ただし、市況動向や残存期間等によっては、信託期間内に償還を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。そのため、転換社債の組入比率が大幅に低下することがあります。</p> <p>転換社債等の運用にあたっては、ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
(設定日)	円	%	%	%	%	百万円
2017年7月27日	10,000	—	—	—	—	13,590
1期(2018年7月30日)	10,206	2.1	89.3	8.8	—	12,250
2期(2019年7月29日)	10,453	2.4	90.2	7.4	—	7,780

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	債 組 入 比 率	券 率	債 先 物 比 率	券 率
	騰 落 率	騰 落 率					
(期 首) 2018年 7月30日	円	%	%	%	%	%	%
	10,206	—	89.3	8.8	—	—	—
7月末	10,208	0.0	89.5	8.9	—	—	—
8月末	10,258	0.5	87.7	10.0	—	—	—
9月末	10,517	3.0	88.5	9.8	—	—	—
10月末	10,350	1.4	86.7	10.4	—	—	—
11月末	10,366	1.6	88.1	10.0	—	—	—
12月末	10,089	△1.1	87.3	9.7	—	—	—
2019年 1月末	10,071	△1.3	86.5	10.0	—	—	—
2月末	10,357	1.5	91.0	7.2	—	—	—
3月末	10,476	2.6	90.7	7.3	—	—	—
4月末	10,610	4.0	89.3	7.7	—	—	—
5月末	10,361	1.5	88.2	7.5	—	—	—
6月末	10,357	1.5	88.1	7.4	—	—	—
(期 末) 2019年 7月29日	10,453	2.4	90.2	7.4	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

2019年以降、米欧の金融当局の利上げに対する慎重な姿勢等を背景に米国とドイツの金利が低下したことや世界的に株式市況が堅調に推移したことなどを受けて、グローバル転換社債（CB）市況が上昇したことや、CBの利子収益を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米中貿易摩擦問題や英国の欧州連合（EU）離脱等を巡る不透明感が高まった局面等で、米ドルやユーロが対円で下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について**◎グローバルCB市況**

- ・グローバルCB市況は上昇しました。
- ・期首から2018年12月末にかけて、米中貿易摩擦や英国のEU離脱を巡る不透明感が強まったこと等を背景に、世界的に株式市況が下落したこと等から、グローバルCB市況は下落しました。その後、期末にかけて、米欧の金融当局が利上げに対する慎重な姿勢を示したこと等を背景に米国とドイツの金利が低下したことや、世界的に株式市況が堅調に推移したこと等から、グローバルCB市況は上昇しました。その結果、期を通じてみると、グローバルCB市況は上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドルやユーロなどの主要通貨は対円で下落しました。
- ・米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱等を巡る不透明感が高まった局面等で、投資家のリスク回避姿勢が高まり、安全資産と見られている円が買われたこと等から、米ドルやユーロなどの主要通貨は対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・保有銘柄は原則継続保有しましたが、値上がりした一部の銘柄等については売却を行い、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。

◎今後の運用方針

- ・各国の中央銀行は、慎重に経済・景気動向を見極めようとしています。短期的には市場が不安定な動きとなる展開も予想されますが、相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見ています。
- ・今後の運用につきましては、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況などを継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、原則として、信託期間内に償還または繰上償還請求可能日を迎える銘柄に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年7月31日～2019年7月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	2	0.021	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(2)	(0.020)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.001)	
期中の平均基準価額は、10,333円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月31日～2019年7月29日)

新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外 国	アメリカ	千アメリカドル 1,000	千アメリカドル 994	千アメリカドル 30,500 (1,000)	千アメリカドル 30,116 (1,000)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	—	—	1,000	1,035
	イタリア	2,000	1,881	—	—
	フランス	172	160	344	325
	オランダ	1,000	1,005	—	—
	ベルギー	1,300	1,233	—	—
	フィンランド	700	704	—	—
	アラブ首長国連邦	500	431	4,000	3,430
	メキシコ	—	—	600	590
	中国	—	—	400	400
	イギリス	千イギリスポンド 1,000	千イギリスポンド 963	千イギリスポンド 1,200	千イギリスポンド 1,139
	香港	千香港ドル 24,000	千香港ドル 23,362	千香港ドル 17,000 (33,000)	千香港ドル 17,022 (33,282)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 4,324

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月31日～2019年7月29日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B 百万円	$\frac{B}{A}$ %	百万円	うち利害関係人 との取引状況D 百万円	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	1,007	211	21.0	5,758	902	15.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年7月29日現在)

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千アメリカドル	千アメリカドル	千円
1.75 BW GROUP LTD 190910		4,000	4,006	434,483
1.25 WHITING PETR 200401		2,900	2,828	306,759
3.75 SPIRIT REALT 210515		2,600	2,669	289,547
0.875 SUNPOWER CO 210601		1,250	1,156	125,395
1 TWITTER INC 210915		1,750	1,715	185,991
6.25 TWO HARBORS 220115		1,400	1,426	154,689
3.75 ARES CAPITAL 220201		4,200	4,310	467,446
4.375 HERCULES CA 220201		3,450	3,489	378,412
4.625 TCP CAPITAL 220301		2,000	2,045	221,781
0 CHINA MENGNIU D 220605		1,000	1,014	110,015
5 BLACKROCK CAPIT 220615		4,800	4,877	529,006
2 GLENMARK PHARMA 220628		1,500	1,536	166,582
4.95 PROSPECT CAP 220715		5,500	5,643	612,082
0 CHINA OVERS 230105		4,000	4,406	477,906
小 計	額 面 ・ 金 額	40,350	41,125	4,460,100
	銘 柄 数 < 比 率 >	14	—	<57.3%>
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	
1.125 TELECOM ITA 220326		5,000	5,022	606,378
小 計	額 面 ・ 金 額	5,000	5,022	606,378
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<7.8%>
(ユーロ・・・フランス)				
0 INGENICO GROUP 220626		860	859	103,739
小 計	額 面 ・ 金 額	860	859	103,739
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<1.3%>
(ユーロ・・・オランダ)				
3.5 KONINKLIJKE B 210613		1,000	903	109,034
小 計	額 面 ・ 金 額	1,000	903	109,034
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<1.4%>
(ユーロ・・・ベルギー)				
0 BEKAERT SA 210609		1,300	1,234	149,056
小 計	額 面 ・ 金 額	1,300	1,234	149,056
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<1.9%>

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・フィンランド) 3.25 OUTOKUMPU 200226	千ユーロ 700	千ユーロ 706	千円 85,336
小 計	額 面 ・ 金 額 700	706	85,336
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<1.1%>
(ユーロ・・・アラブ首長国連邦) 1 AABAR INVESTMEN 220327	5,000	4,570	551,802
小 計	額 面 ・ 金 額 5,000	4,570	551,802
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<7.1%>
(ユーロ・・・メキシコ) 0 AMERICA MOVIL S 200528	800	798	96,394
小 計	額 面 ・ 金 額 800	798	96,394
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<1.2%>
(ユーロ・・・中国) 0 ZHEJIANG EXPRES 220421	1,500	1,486	179,452
小 計	額 面 ・ 金 額 1,500	1,486	179,452
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<2.3%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額 16,160	15,581	1,881,192
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	<24.2%>
(イギリス) 0 BRITISH LAND 200609 2.75 BRAIT SE 200918	千イギリスポンド 500 1,900	千イギリスポンド 493 1,792	66,185 240,600
小 計	額 面 ・ 金 額 2,400	2,286	306,786
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<3.9%>
(スウェーデン) 2.75 RECIPHARM AB 211006	千スウェーデンクローネ 8,000	千スウェーデンクローネ 8,067	92,131
小 計	額 面 ・ 金 額 8,000	8,067	92,131
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<1.2%>
(香港) 4.25 CHINA EVERGR 230214 0 ZHONGSHENG G 230523	千香港ドル 8,000 12,000	千香港ドル 7,478 12,558	103,724 174,187
小 計	額 面 ・ 金 額 20,000	20,036	277,912
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<3.6%>
合 計	額 面 ・ 金 額 —	—	7,018,124
	銘 柄 数 < 比 率 >	27	<90.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 5,390	千アメリカドル 5,286	千円 573,362	% 7.4	% 7.4	% —	% 7.4	% —
合 計	5,390	5,286	573,362	7.4	7.4	—	7.4	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円			
普通社債券	4.625	NABORS INDU 210915	4,500	4,331	469,724	2021/9/15	
	6.5	NAVIENT CORP 220615	890	955	103,638	2022/6/15	
合 計					573,362		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年7月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 7,018,124	% 90.2
公社債	573,362	7.4
コール・ローン等、その他	188,865	2.4
投資信託財産総額	7,780,351	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(7,693,760千円)の投資信託財産総額(7,780,351千円)に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.45円	1 ユーロ=120.73円	1 イギリスポンド=134.19円	1 スウェーデンクローネ=11.42円
1 香港ドル=13.87円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,780,351,906
コール・ローン等	135,539,797
公社債(評価額)	7,591,487,546
未収利息	53,092,574
前払費用	231,989
(B) 負債	559
未払利息	189
その他未払費用	370
(C) 純資産総額(A-B)	7,780,351,347
元本	7,443,007,960
次期繰越損益金	337,343,387
(D) 受益権総口数	7,443,007,960口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,453円

<注記事項>

- ①期首元本額 12,003,741,963円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 4,560,734,003円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0453円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型)	4,642,281,837円
世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジなし)(限定追加型)	2,800,726,123円
合計	7,443,007,960円

○損益の状況 (2018年7月31日～2019年7月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	219,485,200
受取利息	219,568,191
支払利息	△ 82,991
(B) 有価証券売買損益	△ 16,732,717
売買益	327,357,375
売買損	△344,090,092
(C) 保管費用等	△ 1,987,407
(D) 当期損益金(A+B+C)	200,765,076
(E) 前期繰越損益金	246,844,308
(F) 解約差損益金	△110,265,997
(G) 計(D+E+F)	337,343,387
次期繰越損益金(G)	337,343,387

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。